

研究会報告

第 65 回 東京医科大学循環器研究会

日 時：平成 29 年 1 月 7 日 (土)

午後 2:00 ~

場 所：東京医科大学病院 新教育研究棟
3 階

当番世話人：田無循環器クリニック
循環器内科 末定 弘行

1. NIR-TRS を用いた未熟児動脈管開存症の重症度評価

(東京医科大学病院 小児科)

羽生 直史、奈良昇乃助、石井 宏樹
中島 隼也、菅波 佑介、春原 大介
河島 尚志

未熟児動脈管開存症 (PDA) の適切な管理は早産児の予後改善に非常に重要である。心エコー検査は PDA の重症度評価に有効だが、検査の限界もある。近赤外分光装置 (NIRS) は簡便に組織循環代謝指標 (SO₂) の測定ができるが、新生児領域における循環管理に NIRS を用いた報告は少ない。我々は NIRS から得られる指標から PDA による循環動態の変化を評価することに取り組んでいる。対象は当院で入院管理を行った超早産・超低出生体重児。TRS-20 (浜松ホトニクス社製) を用いて、動脈管近位の血流指標として右上腕 SO₂、遠位の血流指標として大腿 SO₂、脳血流指標として頭部 SO₂ をそれぞれ測定した。心エコー所見から PDA の重症度によって 3 群に分類し、PDA の重症度とこれらの組織循環代謝指標との関連を検討し、有意な結果を得ることができたので報告する。

2. CTEPH と思われた肺動脈サルコーマの一例

(東京医科大学病院 心臓血管外科)

丸野 恵大、加納 正樹、鈴木 隼
藤吉 俊毅、高橋 聡、杉山 佳代
岩橋 徹、神谷健太郎、松原 忍
小泉 信達、西部 俊哉、荻野 均

【症例】 58 歳の女性。2016 年 5 月より労作時の呼吸苦と咳嗽が出現し、近医での CT で肺動脈主幹部に mass を認め、深部静脈血栓症も認めため肺塞栓症と判断された。同時に、重症肺高血圧症 (平均肺動脈圧 53 mmHg、心拍出量 2.78 l/min、肺血管抵抗 1,126 dyne · sec · cm⁻⁵) を認め、慢性血栓

塞栓性肺高血圧症 (CTEPH) の診断のもと手術的に当院紹介となった。胸骨正中切開、超低体温循環停止下に左右肺動脈を切開したところ、粘性の強い黄色房状腫瘍を多数認め、肺動脈弁より発生した粘液腫と診断した。術後経過は良好であったが、病理組織診断で intimal sarcoma と判明。今後は根治目的に化学療法を施行する予定である。

【結語】 術前 CTEPH の診断で手術に臨んだが、肺動脈 intimal sarcoma であった一例を経験した。CTEPH の鑑別診断としては重要であり、文献的考察も含めて報告する。

3. 拡張相肥大型心筋症、僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症、CRT-D 植込み術後、心房細動頻拍、房室結節アブレーション後の重症心不全に対して bridge to recovery 目的に体外設置型 LVAD を使用した 66 歳男性

(東京都健康長寿医療センター 心臓外科)

河田 光弘、西村 隆、許 俊鋭

(東京都健康長寿医療センター 循環器内科)

二見崇太郎、両角 愛、根本 佳子
齋藤 義弘、大川 庭熙、十菱 千尋
田中 旬、石山 泰三、石川 譲治
坪光 雄介、武田 和夫、藤本 肇
原田 和昌

(東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科)

小山 照幸

66 歳男性。47 歳、拡張型心筋症の診断。57 歳、CRT-D 植込み。64 歳、VF で CRT-D 治療作動のため入院。薬物治療抵抗性 LOS。AVN-ablation を受けて pacing による rate control で退院可能となった。β ブロッカー不耐性と診断され、拡張型心筋症よりも拡張相肥大型心筋症と診断修正。和温療法を導入し心不全無く経過。66 歳、心不全増悪、EF=23%、severe MR、moderate TR、DOB+ミルリノン依存となり当院へ転院。年齢から心移植適応は無く、BTR 目的に体外設置型 LVAD を使用し、MVR+TAP+LAA closure+NiproLVAD を施行。術後経過良好で、23POD LVAD off test 施行。離脱可能と判断し、35POD LVAD 離脱施行。

以後、正中創離開、LVAD 除去部の皮膚欠損部に陰圧創治療 (NPWT) を継続し、心不全治療継続中。

4. 弓部大動脈瘤に対し、非解剖学的頸部バイパス術後、ステントグラフト治療を行った症例の経験

(東京医科大学八王子医療センター 心臓血管外科)

本橋 慎也、松倉 満、内山 裕智

井上 秀範、赤坂 純逸、進藤 俊哉

弓部大動脈瘤は脳への主要分枝が起始していることに加え、大動脈の屈曲および捻れが強く、十分なランディングゾーンの確保ができないため、通常ステントグラフトの適